

Water Expo China 2008 開催記念イベント

日中水パネル：中国の水問題解決に向けた取り組みと日本の役割

1. 背景

中国は、1978年に改革開放路線へ移行後、高い経済成長率を保持し、2004年度以降は年率10パーセントの成長を遂げている。中国は豊富な水資源を有しているものの、近年の急速な発展と、それに伴う水需要の増加のため、大気汚染、水質汚濁、廃棄物問題等の様々な環境問題が顕在すると共に、水資源の枯渇、耕地減少、砂漠化などの自然破壊問題も進行している。一方で、地球温暖化に伴う気候変動により、洪水や渇水等の水災害の被害も拡大が懸念される。

中国が直面している水に関わる「汚染」、「不足」、「災害」の問題解決に向けて、中国政府は第11次5ヵ年計画の中で、水資源に関わる問題を最優先課題の一つとして掲げ、洪水・渇水に対する制御能力の強化、水供給エリアの拡大、環境保護、水資源の効率的活用・保全、下水処理、及び土壤保全等に積極的に取り組んでいく構えである。

一方で、5月12日に発生した汶川（ぶんせん）大地震では、地震に伴う建物の決壊等により数多くの犠牲者を出したが、地震に伴い複数のダムに亀裂が生じたり、土砂崩れによって川が堰とめられて湖が生じるなどの被害が確認されており、地震発生後も、既存ダム・堰とめ湖決壊に伴う洪水等の水関連災害が懸念され、ダムの緊急放流や下流域からの避難を含む対策が取られている。

これらの水問題は、関東地域をはじめとして、日本も既に直面し、特に高度経済成長期以降、新しい施策の実施や技術の導入など、官民一体となって解決に向けて取り組んできている。これら環境保全、利水、治水等に関わる取り組みは、中国の直面している水問題解決に大いに貢献できると考えられる。

そこで、本セミナーでは、中国が直面している水問題を取り上げ、解決に資する制度や技術、ノウハウについて、関東地域をはじめとして国内で培ってきた経験を広く共有する機会とすると共に、中国の水問題解決に向けた日本の役割について議論を行う。

2. 概要

(1) 主催

特定非営利活動法人日本水フォーラム、社団法人関東建設弘済会

(2) 後援、協賛（予定）

中華人民共和国駐日本国大使館、中華人民共和国水利部、中国水利学会、メッセ・フランクフルト

(3) 日時・場所

日時：9月1日（月） 14:00～17:30（13:30受付開始）

場所：東海大学交友会館 望星の間（霞ヶ関ビル33階）：別紙地図参照

(4) 言語

日中同時通訳

(5) 参加費

一般：3,000円、日本水フォーラム個人・団体会員：1,000円（参加費は、当日、受付にてお支払い下さい。）

(6) 申し込み方法

別紙の参加申し込み表に必要事項（氏名、所属、連絡先、日本水フォーラム会員種別）を記載の上、下記までE-mailあるいはFAXにて参加申し込み表をご送付ください。

E-mail：seminar@waterforum.jp、FAX：03-5212-1649

(7) お問い合わせ先

日本水フォーラム 担当 平山 TEL：03-5212-1645

3. 次第（案）

14:00-14:10	開会
14:10-14:40	基調講演：「中国の水問題と解決に向けた取り組み、日本への期待」 朱爾明（中国水利学会名誉理事長／中国ダム委員会副主席／水利部科学技術委員会委員）
14:40-15:50	パネルディスカッション第1部：中国の水問題と解決に向けた政府の取り組み 討議内容案： <ul style="list-style-type: none"> 中国における水資源の現状（水資源ポテンシャル、開発状況、今後の見通し）、水関連災害（洪水、濁水、地震等の自然災害後の2次被害、災害後の水供給）、水環境（水質、周辺環境等） 水問題解決に向けた取り組み（関連法規制・政策とその実行状況、今後の見通し、日本からの技術・資金支援、日中政府間交流等）
15:50-16:10	コーヒープレーク
16:10-17:20	パネルディスカッション第2部：中国の水供給事業関連技術ニーズ <ul style="list-style-type: none"> 中国における水関連産業の市場動向（国内産業、海外からの技術・運営ノウハウの導入状況、関連法規制、今後の見通し他） 日本の企業・団体が蓄積してきた水関連技術・運営ノウハウ 上記に関わる中国への導入状況と課題、今後の見通し
17:20-17:30	閉会

基調講演

- 朱爾明（中国水利学会名誉理事長／中国ダム委員会副主席／水利部科学技術委員会委員）

ファシリテーター

- 丹保憲仁（日本水フォーラム副会長／北海道大学・放送大学名誉教授／北海道開拓記念館館長）

パネリスト

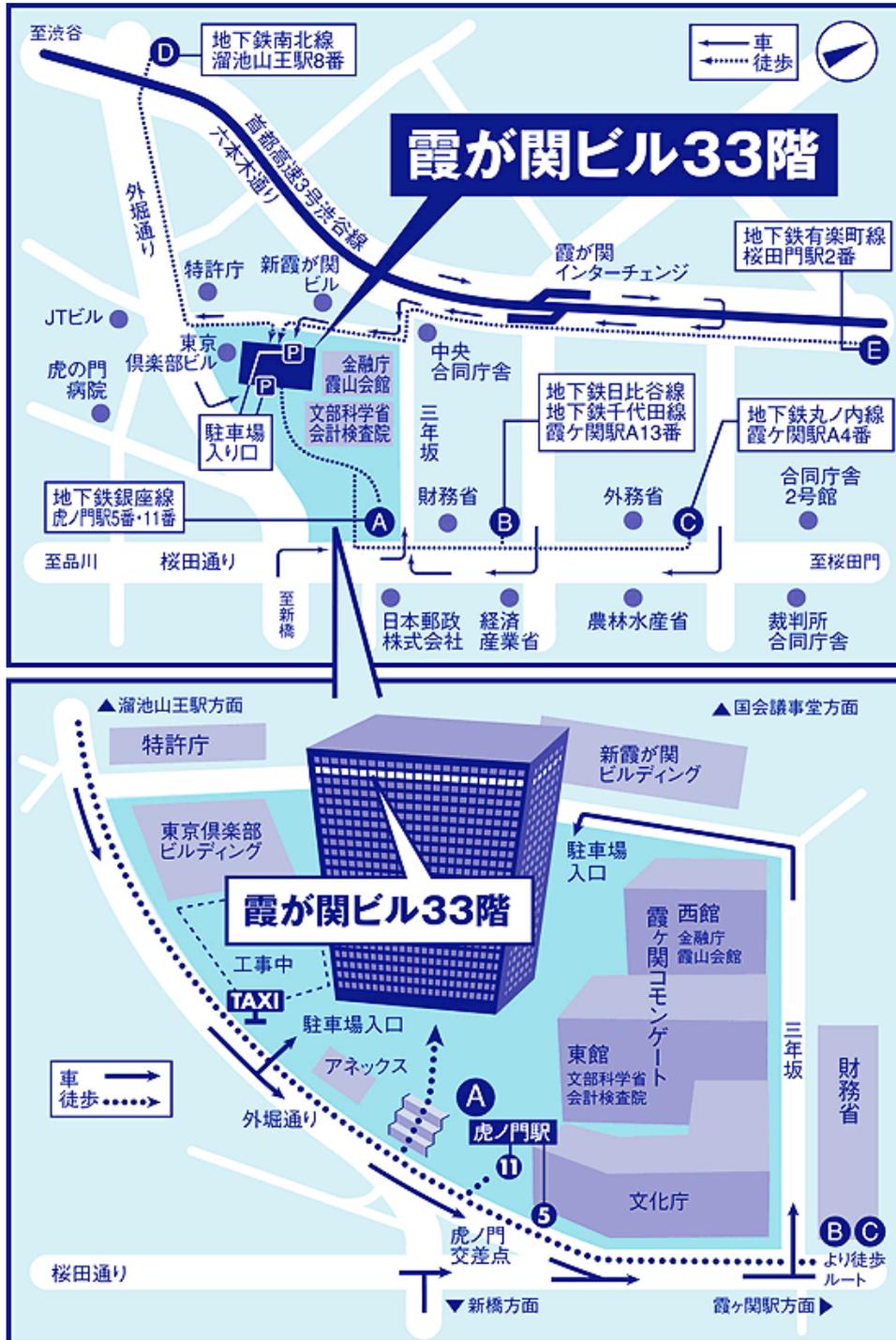
【第1部】

- 朱爾明（中国水利学会名誉理事長／中国ダム委員会副主席／水利部科学技術委員会委員）
- 大津孝雄（株式会社水道産業新聞編集長）
- 北野尚宏（国際協力銀行開発第2部長）
- 栗城稔（元 JICA 長期派遣専門家（中国・水利人材養成プロジェクト）、財団法人河川情報センター河川情報研究所研究第二部部長）
- 宮崎正信（前厚生労働省健康局水道課水道計画指導室長）

【第2部】

- 朱爾明（中国水利学会名誉理事長／中国ダム委員会副主席／水利部科学技術委員会委員）
- 猪本有紀（丸紅株式会社丸紅経済研究所チーフ・アナリスト）
- 内藤康行（チャイナ・ウォーター・リサーチ代表）
- 増子敦（東京都水道局浄水部長）
- 吉村和就（グローバルウォーター・ジャパン代表）

東海大学交友会館位置図



- 銀座線虎ノ門駅 5番出口・11番出口より徒歩3分
- 千代田線・日比谷線霞ヶ関駅 A13番出口より徒歩7分
- 丸の内線霞ヶ関駅 A4番出口より徒歩8分
- 南北線溜池山王駅 8番出口より徒歩5分
- 有楽町線桜田門駅 2番出口より徒歩6分